

基礎学力と教養

人間は言葉以外の情報伝達的手段として、文章による情報伝達が不可欠です。基礎学力の基盤として、生きていく上で必要な読みと書きの学習を小学校から高校の現在まで、国語を中心に学び続けています。また、日常生活では、様々な買い物をする時、金銭のやりとりにも算数・数学が必要です。パソコンやインターネットの使い方もこの中に含まれます。これらを駆使する力が学ぶ力、学ぼうとする力と言えます。人間として学習した結果の能力も全て学力とするならば、基礎学力に入ります。現在の教育が求めている生きる力、生き抜く

力まで広げて考えると、表現力、判断力、コミュニケーション能力も基礎学力と言えるかもしれません。現在は、この基礎学力の定義も変わり、要求のレベルも年々向上している状況も看過できません。例えば、理系の学部では、微分積分やベクトルは基礎学力ですが、沢山ある文系の学部でも必須の基礎学力は多岐に渡っています。学問は進化発展していきま。時代の趨勢をきちんと受け止めて、基礎学力を確実に習得することです。生徒諸君は、基礎学力の上、生涯学び続けて幅広い教養を会得することです。教養とは「全てを失った時にも、全てを忘れた時にも残っているものである」と言われています。

○語彙力チェック

①「陰に隠れて勢力をふるう大物」のことを何というか。

A 白幕 B 黒幕 C 垂れ幕

②急に態度を変えることを「君子□□す」というが□□に入る語は。

A 大變 B 猛變 C 豹變

③「中身がなく形だけになる」という意味の「けいがい化」は次のどの字か。

A 形骸化 B 形外化 C 形概化

④「鋭い眼力」と言う意の「けいがん」には二種類ある。次の中から二つ選べ。

A 慧眼 B 炯眼 C 睽眼

⑤「軽挙妄動」の正しい意味は。

A 言うことがでたらめで根拠がないこと。

B 軽はずみで分別のない行動をとること。

C 勝手気ままに振る舞うこと。

⑥「鶏口牛後」とはどのような人物になることを評価した言葉か。

A 指導者 B 使用人 C 農民

(解答) ① B ② C ③ A ④ A B ⑤ B

⑥ A